

物流情報標準ガイドラインの 普及に向けた取組



一般社団法人

フィジカルインターネットセンター

0. SIPからJPICへ

2022年度					2023年度			
4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q

2018年4月～2023年3月

内閣府（経済産業省・国土交通省協業）



スマート物流サービス

2023年2月公認

SIPスマート物流サービスの後継組織として行政より機能を継承

- スマート物流サービスの啓蒙活動
- **物流情報標準ガイドラインの維持・管理**
- 国際連携

2022年6月～

フィジカルインターネットの実現を目指してスピナウト



一般社団法人

フィジカルインターネットセンター

2023年10月～新体制へ

2016年6月～2022年11月

一般社団法人

ヤマトグループ総合研究所

1. 我が国が抱える物流課題

課題

労働力不足

生産年齢人口は、20年後、
約20%減少

ニーズの多様化

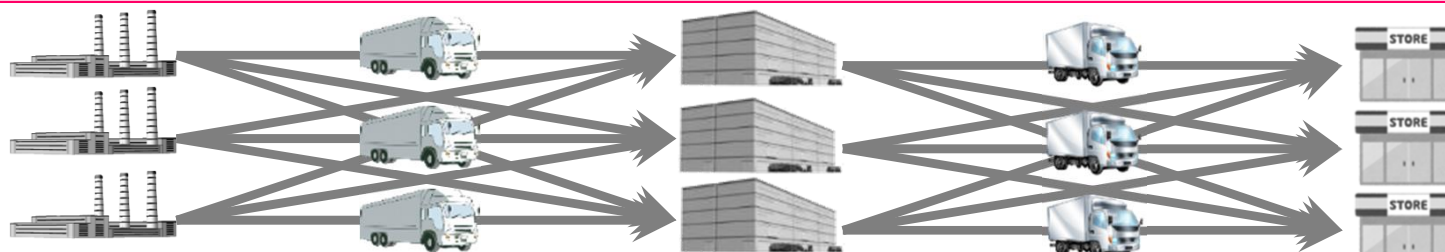
積載効率は、20年前に比べ、
約25%低下

環境への対応

CO2は、2030年までに、
46%削減が目標

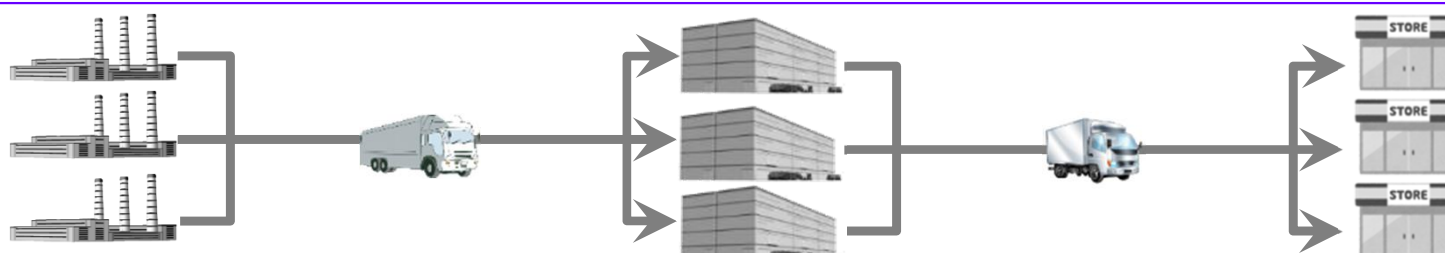
物流分野でのSDGs達成には、20~30%の生産性向上が必要

現在



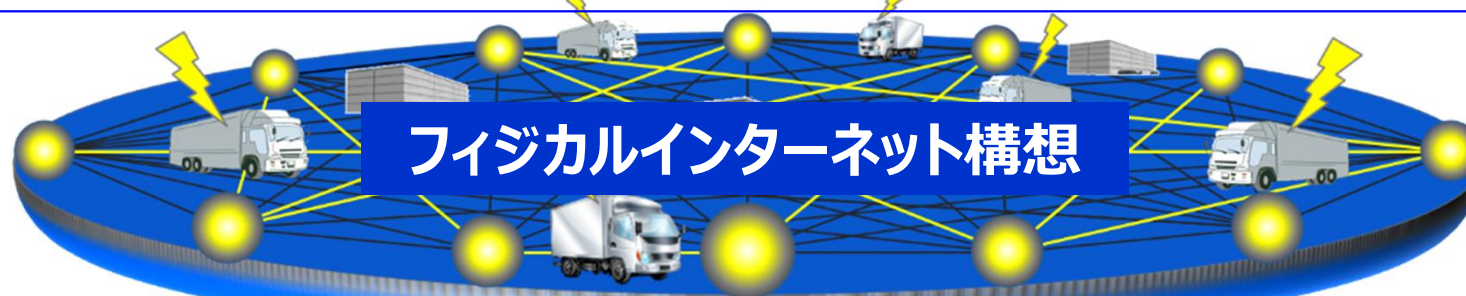
物流業界のデジタル化の遅れに起因する非効率なサプライチェーン

取り組み



物流プロセスの最適化

目指す世界



フィジカルインターネット構想

2. 目指す世界観

目指す世界

業種・業態を超えた物流情報の見える化

BIG
DATA

AI

Sandbox

業種・業態を超えた
物流情報の利活用

業種・業態を超えたN:Nの共同物流

全体最適化

Trial & Error ...

エリア最適化

モーダルシフト

自動認識・省力化

業界最適化

データ標準化

ステップ

3. ガイドライン作成のステップ

- 2020年3月 ① プロセス標準・メッセージ標準・コード標準の素案を作成
- 2020年4月～ ② 素案について、4業種等事業者から意見聴取し、標準化案を作成
- 2020年7月～ ③ 標準化案について、商習慣改革・標準化検討委員会標準化WGで審議
- 2020年8月 ④ **商習慣改革・標準化検討委員会**で「SIP物流標準化ガイドライン（案）」を策定
- 2020年9月～ ⑤ **業界新聞・HP等**で「SIP物流標準化ガイドライン（案）」の**意見募集**を開始
- 2021年4月 ⑥ 「SIP物流標準ガイドラインβ版」を策定。⇒業種等データ基盤への実装開始
- 2021年5月～ ⑦ 「SIP物流標準ガイドラインβ版」の有力企業・業界団体での**セカンドオピニオン**を実施
- 2021年10月 ⑧ **SIP物流標準ガイドライン（ver.1.0）リリース**
- 2022年10月 ⑨ **物流情報標準ガイドライン（ver.2.1）リリース**

4. ガイドライン策定に参画した企業・団体



【企業・団体】 ※法人格を除く50音順

- Gaussy株式会社
- 一般社団法人医療材料統合流通研究会
- 国立国際医療研究センター
- 公益財団法人 国土地理協会
- 一般財団法人 自動車検査登録情報協会
- 株式会社セイノー情報サービス
- 帝人株式会社
- デジタルロジスティクス推進協議会
- 株式会社日通総合研究所
- 一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会
- 一般社団法人 日本加工食品卸協会
- 日本電気株式会社
- 日本パレットレンタル株式会社
- 一般社団法人 日本物流団体連合会
- 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会
- 株式会社日立物流
- 日立物流ソフトウェア株式会社
- ファイネット株式会社
- 株式会社プラネット
- 一般社団法人 米国医療機器・IVD工業会
- 株式会社メディコード
- ヤマト運輸株式会社
- ユーピーアール株式会社
- 公益財団法人 流通経済研究所
- 一般財団法人 流通システム開発センター

【関係省庁】

- 経済産業省商務情報政策局
- 国土交通省国土地理院
- 国土交通省自動車局自動車情報課
- 国土交通省総合政策局物流政策課
- デジタル庁

5. ガイドラインの構成

物流情報標準ガイドライン
Logistics Information Standards

- 物流情報標準ガイドラインでは、先行するグローバル標準（UN/CEFACT、ISO、GS1）と国内の物流XML/EDI標準や、商取引における流通BMSを重視して構築されている。
- 標準化のステップを定義し、「物流情報標準化検討委員会」で最終的にオーソライズし、以下の3つを制定。

物流情報標準ガイドラインを構成する3つの標準

物流業務プロセス標準
(物流業務プロセスの標準化)

共同運送、共同保管、検品レス、バース予約を対象に、運送計画や集荷、入出庫、配達といった物流プロセスの流れやルールを定義。

物流メッセージ標準
(物流情報標準メッセージレイアウト)

運送計画情報や出荷情報、運送依頼情報といったメッセージを定義。

物流共有マスタ標準
(物流情報標準共有マスタ)

各々の業界プラットフォームで利用できるマスタを定義。

6. ガイドライン準拠企業

 **telesa-delivery**

株式会社TSUNAGUTE

 **invoiceAgent**

ウイングアーク1st株式会社

ロジック

アセンド株式会社

DD Plus TranOpt

日本パレットレンタル株式会社



富士通株式会社

**物流情報
標準ガイドライン**

 **WareX**

Gaussy株式会社



株式会社丸和運輸機関

 **aidiot**

株式会社アイディオット

 **Hacologi**

中西金属工業株式会社

SmartBarcode®

株式会社LOZI

DoCoMAP

株式会社ドコマップジャパン

7. ガイドライン普及に向けた取組

2023年度					2024年度			
4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q

準拠に向けた課題の調査

利用手引の周知



参考 1



参考 2



啓蒙活動

第3回官民物流
標準化懇談会

加工食品分野に
おける標準化AP

PIシンポジウム
2024

PI実現会議

第4回官民物流
標準化懇談会

PIシンポジウム
2025

物流情報標準ガイドラインホームページによる周知
(ガイドライン一覧、用語集、利用手引 等)

機能継承

【参考 1】ガイドライン利用手引

物流情報標準ガイドライン

利用手引

LOGISTICS

🔍 物流情報標準ガイドライン

✕

<https://www.lisc.or.jp/>

導入方法

導入事例

III 物流情報標準ガイドラインの導入

III-2 導入方法

主にシステム部門の管理を対象として、物流情報標準ガイドラインの導入方法を説明します。本手引では、ガイドラインにおいて定められている物流情報標準のうち、物流情報標準メッセージレイアウトの導入方法を紹介します。

1 準拠させたい物流情報とガイドラインの対応の確認

- まず、ガイドラインに準拠させる物流情報と、データ決定後の画面等に確認します。
- 次に、ガイドラインのHPにある物流メッセージ標準（物流情報標準メッセージレイアウト）の5-6ページ（プロセス一覧とメッセージの整理）を参照し、対応するメッセージを確認します。
- ガイドラインでは、目的別に整理されたデータ項目で構成された物流情報メッセージと呼んでいます。

準拠させる項目の整理/整理	例	例
データ項目の整理 (物流情報標準のタイピング)	運送の輸送手段の整理	日次運送の整理
整理している物流情報	品名、品目、数量、重量、単位等	品名、品目、数量、重量、単位等
整理方法	品目別	数量別
整理方法	品目別	数量別

プロセス一覧とメッセージの整理 (抜粋)

プロセス	プロセス内容	メッセージ	メッセージ番号
1	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	01
2	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	02
3	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	03
4	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	04
5	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	05
6	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	06
7	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	07
8	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	08
9	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	09
10	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	品名・品目・数量・重量・単位等の整理	10

対応するメッセージ



https://lisc.or.jp/kouza/magapp/m-1629650794/m-1629650794_ext_1_0.pdf

III 物流情報標準ガイドラインの導入

III-3 準拠の事例①

3PL事業者:
株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

株式会社丸通運輸機関

【参考2】ガイドラインの普及啓発

フィジカルインターネット シンポジウム2024

迫る2024年問題と持続可能な物流の実現に向けて



プログラム

14:00～14:10		開会の挨拶 一般社団法人フィジカルインターネットセンター 理事長 森 隆行 氏 (経済科学大学名誉教授)
14:10～14:40		基調講演 ～迫る2024年問題と持続可能な物流の実現に向けて～ 株式会社ローランド・ベルガー パートナー 小野塚 征志 氏
14:40～15:00		行政施策 (経済産業省) 経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 課長 中野 剛志 氏 (併 物流企画室長)
15:00～15:20		最近の物流政策について (国土交通省) 国土交通省 物流・自動車局 物流政策課 課長 平澤 崇裕 氏
15:20～15:40		物流情報標準ガイドラインセミナー ～フィジカルインターネット実現に向けて～ (株)野村総合研究所アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル 森川 健 氏
～休憩(10分)～		

パネルディスカッション

垂直・水平統合がもたらすフィジカルインターネットの可能性

モデレーター

小野塚 征志 氏 株式会社ローランド・ベルガー パートナー

パネラー

高谷 秀史 氏 三菱ケミカル株式会社 消費・物流本部 企画戦略部 SC戦略統合プロジェクトプロジェクトリーダー
時岡 尚平 氏 一般社団法人日本加工食品協会の専務理事
中野 剛志 氏 経済産業省商務・サービスグループ 消費・流通政策課 課長
平澤 崇裕 氏 国土交通省 物流・自動車局 物流政策課 課長



「アンケートにご協力ください。」

今後のシンポジウム運営、行政施策の参考にさせていただきます。尚、本アンケートご回答者には、本日の資料をお送り致します。

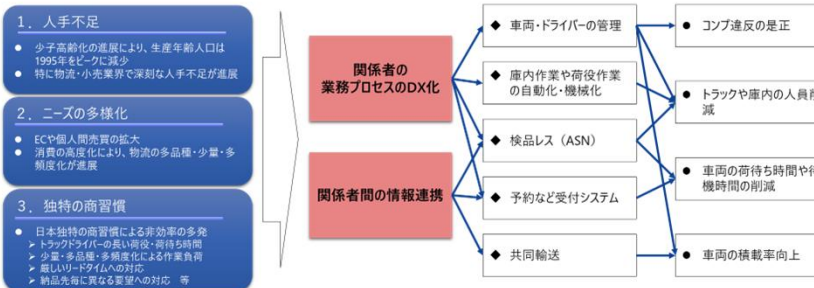


ガイドラインの必要性・内容・効果等について解説

1. 物流課題への対応にはDX化が不可欠

物流業界で人手不足やニーズ多様化、独特の商習慣がある中解決には、業務のDX化や関係者間の情報連携が必要

- トラックドライバーの2024年問題を代表とした我が国の物流の問題は早急に解決すべき深刻な課題となっている。
- これらの課題の解決策としては、DX化に代表される施策が有効である。



当日の資料はガイドラインHPで閲覧可能

【参考3】物流情報標準化検討委員会



(1) 目的

物流情報標準ガイドライン利活用拡大のための改定の検討。

(2) 実施内容

「物流情報標準ガイドラインに関する意見募集」で皆様から頂いたご意見をベースに、ガイドラインの改定を検討する。

(3) 委員(敬称略)

座長 藁谷 友紀 (早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授)
森 隆行 (流通科学大学 名誉教授 / フィジカルインターネットセンター 理事長)
加藤 弘貴 (公益財団法人流通経済研究所 専務理事)
検崎 朴郎 (デジタルロジスティクス推進協議会 (事務局) 日本パレットレンタル株式会社 執行役員)
早川 典雄 (株式会社セイノー情報サービス LLP事業部 参与)
平野 義明 (帝人フロンティア株式会社 新事業推進本部長)
藤原 康志 (富士通株式会社 CPS&R事業本部 食品流通事業部第三ビジネス部長)
北條 英 (公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 所長)
山名 克彦 (一般社団法人日本物流団体連合会 業務部)
河合 誠雄 (一般社団法人米国医療機器・IVD工業会 (AMDD))
長谷川 真一 (伊藤忠商事株式会社 物資物流部 海運・物資課 上席コンサルタント)

スケジュール	2024年				2025年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I 意見募集							
II 意見分類							
III 委員選定・委嘱							
IV 委員会資料作成							
V 委員会			11/11 ★	12/20 ★			
VI ガイドライン改定案作成							
VII WEB掲載							
VIII シンポジウムでの発信						2/14 ★	

フィジカルインターネットシンポジウム2025



～議論・実証実験の時代から社会実装の時代へ～

1. 日時 **2025年2月14日（金） 14:00～17:00（開場13:30～）**
2. 会場 【会場参加】東京国際フォーラム ホールD7 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
【オンライン参加】ライブ配信型 Webセミナー
3. 主催 フィジカルインターネットセンター（共催 経済産業省、国土交通省）
4. 参加費 無料（事前登録制）
5. プログラム

参加登録は
コチラ→



予定時間	講演者・発表機関	題目（タイトルは仮）
14:00～14:20	 一般社団法人フィジカルインターネットセンター 理事長 森 隆行氏 （流通科学大学名誉教授）	JPIC活動報告
14:20～14:40	 経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 長 兼 物流企画室長 平林 孝之氏	行政施策（経済産業省）
14:40～15:00	 国土交通省 物流・自動車局 物流政策課 課長 紺野 博行氏	行政施策（国土交通省）
15:00～15:40	 敬愛大学 特任教授 根本 敏則氏	基調講演 ～議論・実証実験の時代から社会実装の時代へ～

～ 休憩（10分） ～

15:50～16:10	 (株)野村総合研究所アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル 森川 健氏	物流情報標準ガイドラインとその改訂について
16:10～17:00	● 準拠企業発表① ・ ・ ・ ・	フィジカルインターネット実現に向けた取組み ～物流情報標準ガイドラインに準拠した 新たなプラットフォームの社会実装～